

3月末におけるレポ市場の国債需給タイト化への対応について

最近のレポ市場の動向を踏まえると、この3月末に向けて同市場の国債需給が一段とタイト化すると予想されます。このため、日本銀行では、レポ市場の国債需給を緩和するための一時的な措置として、以下の対応を講じることとしました。

1. 国債供給のための国債売現先オペの実施

3月24日（金）に、3月27日（月）スタート、4月3日（月）エンドの国債の買戻条件付売却（国債売現先オペ）をオファーします。また、27日以降も、必要に応じて、3月末を跨ぐ国債売現先オペをオファーする方針です。

（注）オファー時刻等については、既に公表している「オペタイムテーブル」をご覧ください。

2. 国債補完供給の応募銘柄数の上限引き上げ

3月31日（金）から4月7日（金）までの間に実施する国債補完供給について、売却対象先ごとの1回当たりの応募銘柄数の上限を一時的に緩和し、従来の20銘柄から30銘柄に引き上げることとします。

（注）上記期間における国債補完供給を円滑に実施するために必要と認める場合には、当日のオファーおよびオファーバックの時刻を変更する可能性もあります（変更する場合には、別途、各対象先に連絡します）。

3. 3月中の国庫短期証券の買入れの取りやめ

今3月中は、金融市場調節の一環として行う国庫短期証券の買入れをオファーしないこととします。

以 上

<照会先>

日本銀行金融市場局市場調節課 奥野（03-3277-1234）、安藤（03-3277-1284）